

東関東大学 秋季リーグ 2年連続3度目の優勝!

軟式野球部



勉学・スポーツに打ち込みながら、世界と地域と交流を深める。J・I・Uキャンパスは、そうした若者のエネルギーが燃焼する場だ。「栄冠」に向け、汗を流しているアスリートたち。女子駅伝部は「伝統の復活」まで「あと一步」までこぎつけた。観光学部軟式野球部は、投打のバランスがとれた「理想の型・チーム」が見えてきたという。



東関東大学秋季リーグで優勝し、河上監督を囲み上げる選手たち



「スポーツにエールを」



城西国際大学学長 松下 浩明 氏

子供のころから野球やサッカーなど、スポーツが好きでした。小学生の時は野球に熱中し、プロ野球の巨人軍の長嶋茂雄選手(終身名誉監督)に憧れました。ユニフォームを買ってもらった時の嬉しかった気持ちを今でも憶えています。それにサッカーもやりました。山武町立山武中学(現山武市立)時代は、森田健作さん(現千葉県知事)のテレビドラマに出てくる剣道に興味を持ち、剣道部に入りましたが、長続きせず、結局、2年生からバレーボール部に入り、打ち込みました。都大会で優勝し、千葉県大会に出場したこともあります。

以来、バレーボールが「スポーツの友」となりました。山武町議時代の平成12年(2000年)に「山武ジュニアバレーボールクラブ」を結成しました。地元の小生に集まってもいい週末などに週3回、バレーボールを教えました。現在もこのクラブの会長をしています。いまは子供の数は減りましたが、最盛期には約50人が集まりました。この中から船橋市立船橋高校や下北沢成徳高校などバレーボールの名門校に進み、全国大会で優勝した選手も出ています。

千葉県議時代には、議員や職員らとサッカーチームをつくり、プレーをしていました。スポーツ観戦も好きですね。プロ野球の千葉ロッテマリーンズの「山武後援会」の会長で、市長になる前は年に3回ほど球場に足を運びました。スポーツと市政、といえは山武市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に出場するスリランカ選手団の「事前キャンプ地(ホストタウン)」になっています。施設も整備するなど、受け入れの準備を進めています。J・I・Uの協力も得ながら市民スポーツ・文化活動を活発にしたいですね。

【略歴】1961年生まれ。山武町(現山武市)出身。山武町議、山武町長、千葉県議会議員を経て今年4月から山武市長。

鴨川 観光学部

東関東大学軟式野球連盟秋季リーグ決勝戦が10月3日、成田市のナスパスタジアムで行われ、観光学部軟式野球部が2年連続3度目の優勝を果たした。観光学部軟式野球部は、リーグ戦を3勝2敗、東リ1位で代表決定戦に進み、準決勝は、日本大学経済学部、決勝戦は、帝京大学

決勝戦でライバル相手にゴールド勝ち

東関東大学軟式野球連盟秋季リーグ決勝戦が10月3日、成田市のナスパスタジアムで行われ、観光学部軟式野球部が2年連続3度目の優勝を果たした。観光学部軟式野球部は、リーグ戦を3勝2敗、東リ1位で代表決定戦に進み、準決勝は、日本大学経済学部、決勝戦は、帝京大学にそれぞれ勝利し、2年連続3回目のリーグ優勝となった。優勝を飾った秋季リーグ戦だが、苦しい戦いもあった。第1戦の日本生産工業部、第2戦の神戸外語大には、5対1、9対0とそれぞれ快勝した。しかし、第3戦の国際武道大には4対6とまさかの敗

女子駅伝部

J・I・Uの女子駅伝部は、10月30日、第24回関東大学女子駅伝対校選手権に出場した。千葉ニュータウン周回コース(6区間)20.5km、3年以下のメンバーで挑んだJ・I・Uは、1時間46分47秒で12位、健闘を挙げ、予選突破へ弾みをつけた。レースは、1区佐藤美音(3年)からタスキを受けた2区・瀧澤水希乃(1年)が4人を抜いて10位浮上。3区安部日和(1年)、4区・中島佳(1年)とつなぎ、5区・小林希良莉(3年)は、やや不調だったが、アンカーの6区加藤あや(1年)が順位を二上げて

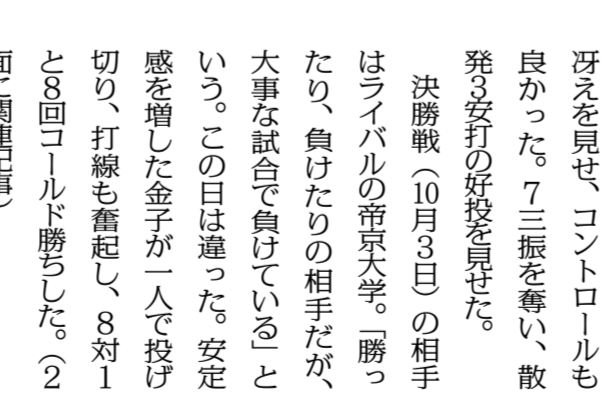


スタート直後のデパヒート

ゴールに現れた。4区まで10位以内を、実りのある内容だった。昨年、6年ぶりに復帰した大塚正美監督(経歴詳細は別欄を参照)は、結果は残念だが「4区までは読み通り、うまく流れを作ってくれた」と手応え大いだった表情を浮かべた。(面談記事)

3区・安倍(左)からタスキを受ける4区・中島

ち久保田と黒川を動員、その「必勝の投手リレー」のうえで敗北である。「敗因はこれまでの実績から国際武道大に負けるわけではない」といふのがあったからだ(河上監督)。



面談記事

左腕の金足は、変化球に習えを見せ、コントロールも良かった。7三振を奪い、散発安打の存続を見た。決勝戦(10月3日)の相手はライバルの帝京大学。勝った、負けたの相手だが、大事な試合で負けていて、この日は違った。安定感を増した金足が一人で投げ切り、打撃も奮起し、8対1と8回コールド勝ちした。2年連続優勝。

試合結果 東関東大学軟式野球連盟東リリーグ

第1戦	対 日本大学生産工学部	5-1
第2戦	対 神戸外語大学	9-0
第3戦	対 国際武道大学	4-6
第4戦	対 城西国際大学(東金)	9-1

試合結果 東関東秋季代表決定戦

準決勝	対 日本大学経済学部	3-0
決勝	対 帝京大学	8-1



全日本の道へ手応え十分 期待しています!

全日本大学駅伝 8位入賞でシード権奪取

女子駅伝部は、10月30日、第24回関東大学女子駅伝対校選手権に出場した。千葉ニュータウン周回コース(6区間)20.5km、3年以下のメンバーで挑んだJ・I・Uは、1時間46分47秒で12位、健闘を挙げ、予選突破へ弾みをつけた。レースは、1区佐藤美音(3年)からタスキを受けた2区・瀧澤水希乃(1年)が4人を抜いて10位浮上。3区安部日和(1年)、4区・中島佳(1年)とつなぎ、5区・小林希良莉(3年)は、やや不調だったが、アンカーの6区加藤あや(1年)が順位を二上げて

ゴールに現れた。4区まで10位以内を、実りのある内容だった。昨年、6年ぶりに復帰した大塚正美監督(経歴詳細は別欄を参照)は、結果は残念だが「4区までは読み通り、うまく流れを作ってくれた」と手応え大いだった表情を浮かべた。(面談記事)

3区・安倍(左)からタスキを受ける4区・中島

内藤慶幸に東金市優秀選手賞

関東女子学生選手権での活躍評価 剣道部

女子剣道の内藤選手(福社硬式部3年、福岡1人高)が10月7日、東金市市民体育祭の開会式で優秀選手賞を授与された。これまでの活躍が評価された。

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

J・I・U女子剣道部からは9名が出場した。内藤選手は機動力を生かし、5回戦を突破した。6回戦に勝つのはベスト8に入るが、惜しくも敗退。しかし、ベスト16以上の選手は、2回大会に出場の道が開かれる。その第2回全日本女子学生剣道選手権大会が7月に武道館(東京・九段)で開催された。

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

「剣道はいつから?」
小学校2年の時からです。剣道家で両親、姉、兄もやっていた。町の道場に通っていました。中学校剣道部に入りました。福島の南部、ロッソで個人戦優勝しました。

J・I・Uのきっかけは? 「八女高校時代に福で開催される高専剣道大会(全国屈指の高専剣道大会)に国屈指の高専剣道大会に出ました。会場で見つけたJ・I・Uの剣道部監督の今井英雄さんにうちの大学に来て、関東でやってみよう、と誘われ、東で戦ってみたいのがきっかけです。子どもが好きなので福社硬式部の子どものコスプレに入りました。

関東女子学生剣道選手権大会での活躍が評価され、優秀選手賞を受賞しましたが、今後の目標は? 「関東大学の新人戦(団体戦、5人制)が12月1日(日)に行われます。週2回の7時から9時の練習、放課後は毎日2時間、みっちり稽古をしています。新人戦は1、2年生の後輩が戦う大会ですが、3年生の私が気を抜かず、自らの試合に決め、後輩たちと稽古に励んでいます。過去に先輩たちが関東で第1位に入賞している大会なので、良い結果を収めたいです。」

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

今冬テーマは「せめぎ合いの強さ」

高いモチベーションに期待高まる 柔道部

8月末に行われた関東学生柔道連盟選手権大会で、男子100キロ級の北野翔太(2年・沼南・経営情報)がベスト8まで進出したが、惜しくも代表決定戦で敗れ、本学初の個人戦での全日本出場はならなかった。また個人戦のポ

新チームでは吉村の中倉雄(3年・木更津経済・経営情報)を中心に、けがから復帰する上田泰成(2年・九州学院・経営情報)、詫田真輝(1年)に加え、1年生ながら引千口級でベスト16まで勝ち上がった古賀大介(長崎大)に、1年時からメンバー入りしている高橋光希(3年・国学院栃木・経営情報)と、188センチの長身を生かした一発のある前沢朋哉(3年・文星天付・福祉総合)、均整の取れた重畳級の町田(2年・武威越生・経営情報)と

女子は新主将の友部実来(3年・水戸商業・経営情報)を中心に、千葉麗ジュニアを2連覇した高木美咲(2年・五所川原林・経営情報)がチームの柱となる。そこは長身の泉栄志(2年・青森北・経営情報)と、受けの強さが光る金本唯(2年・藤枝順心・国際交流)、バーでは重畳級にひけを取らない加藤祐貴(2年・君津商業・経営情報)の2年生力カテゴリーで、2013年以降の関東優勝を目指す。

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

「剣道はいつから?」
小学校2年の時からです。剣道家で両親、姉、兄もやっていた。町の道場に通っていました。中学校剣道部に入りました。福島の南部、ロッソで個人戦優勝しました。

J・I・Uのきっかけは? 「八女高校時代に福で開催される高専剣道大会(全国屈指の高専剣道大会)に国屈指の高専剣道大会に出ました。会場で見つけたJ・I・Uの剣道部監督の今井英雄さんにうちの大学に来て、関東でやってみよう、と誘われ、東で戦ってみたいのがきっかけです。子どもが好きなので福社硬式部の子どものコスプレに入りました。

関東女子学生剣道選手権大会での活躍が評価され、優秀選手賞を受賞しましたが、今後の目標は? 「関東大学の新人戦(団体戦、5人制)が12月1日(日)に行われます。週2回の7時から9時の練習、放課後は毎日2時間、みっちり稽古をしています。新人戦は1、2年生の後輩が戦う大会ですが、3年生の私が気を抜かず、自らの試合に決め、後輩たちと稽古に励んでいます。過去に先輩たちが関東で第1位に入賞している大会なので、良い結果を収めたいです。」

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

JUから② 杜の都駅伝 総合14位

女子駅伝部 第36回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)は10月28日、仙台市の旧・仙台市陸上競技場・仙台市役所前広場の6区間(38.0キロ)で行われ、姉妹校の城西大学は2時間11分50秒で総合14位だった。

12位に後進、3区岡村歩実(代校2年)も奮った。順位を20位まで落とした。

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

JUから① 出雲駅伝で初入賞 総合8位

男子駅伝部 第30回全日本大学男子駅伝対校選手権大会は10月4日、鳥取県出雲市で開催された。3年ぶり4回目出場となった姉妹校の城西大学(男子駅伝部)は目標の8位は届かなかったが、総合8位となり初入賞を果たした。

総合8位(2時間15分11秒)

1区(8.0%)	荻久保寛也(経営3)	23分28秒(区間3位)
2区(5.8%)	西嶋雄伸(経営3)	17分09秒(区間12位)
3区(8.5%)	鈴木勝彦(経営4)	26分01秒(区間9位)
4区(6.2%)	中島公平(経営4)	18分31秒(区間8位)
5区(6.4%)	山本 嵐(経営1)	19分14秒(区間9位)
6区(10.2%)	服部満哉(経営4)	30分48秒(区間7位)

内藤選手は、5月19日、東京武道館(足立区)で行われた第50回関東女子学生剣道選手権大会に出場。この大会には関東連盟の103選手から517名の選手が出場し、「全国大会出場券」の争奪トーナメント戦(個人戦)が繰り広げられた。

「健康の話」—— 学生保険

皆さんは、大学で加入している保険の事ご存知ですか? それぞれの家庭でも保険に加入されていると思いますが、大学でも入学と同時に学生全員が加入している保険とさらに任意で加入した保険があります。概略を下記に示します。

1. 入学と同時に全員が加入している保険		
保険の種類	対象範囲	備考
学研災	正課中・学内・通学中・課外活動中	治療日数の制限有
付帯賠償	正課中・学内・通学中・課外活動中	相手・物に対する賠償
富士生命	外傷による5日以上入院	プライベート時間も対象
2. 任意保険(入学時に任意加入)		
保険の種類	対象範囲	備考
付帯学総	24時間補償	1日目から対象
学生総合補償	同上	1日目から対象

【※アルバイト中も補償の範囲。また、急な入院で遠方から保護者来たる際の交通費等も補償】

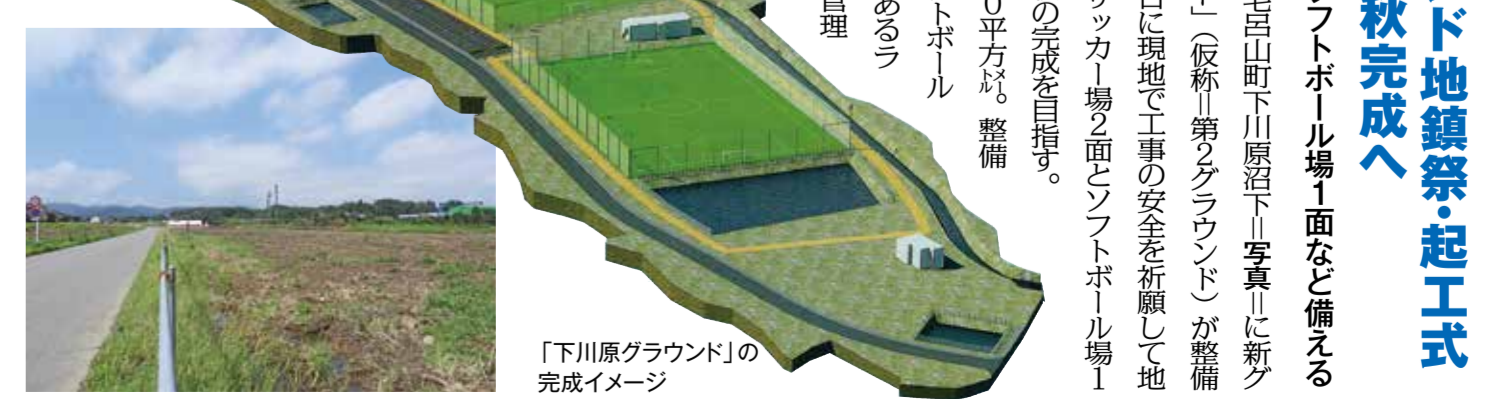
事故が発生(けがをしたら) 事故後(受傷後)2週間以内に医務室に報告
① 事故の状況を「受傷届」により報告
② 治療が終了したら領収書・印鑑を持参し、保険給付の手続きをする

自転車やバイクによるけがが増えてきます。スピードの出しすぎに注意し、交通ルールを順守しましょう。【※バイク・車通学は、届け出が必要です(東金キャンパス・安房キャンパス)】

JUから③ 全日本大学駅伝 8位入賞でシード権奪取

男子駅伝部 第50回全日本大学駅伝対校選手権大会は11月4日、名古屋市の熱田神社宮から三重県伊勢市の伊勢神宮までの8区間106.8キロで行われた。2年連続7回目の出場となった城西大学男子駅伝部は過去最高の8位入賞を果たすとともに、今年から8位以内となったシード権を奪取した。

荻久保寛也(経営3)が、終始先頭集団でレースを展開。各校エース級のランナーがスタートをかける中、必死の形相で粘り切った城西大学の形相で粘り切った城西大学(男子駅伝部)は目標の8位は届かなかったが、総合8位となり初入賞を果たした。



「下川原グラウンド」の完成イメージ

